

平成30年1月10日(水)第14号



# きふね

北九州市立貴船小学校

〒802-0074

小倉北区白銀2-8-1

TEL921-3971

文責：校長 新森 修二

目指す子ども像

<き> きまりを守る子ども

<ふ> 振り返り、よく考える子ども

<ね> 粘り強くがんばる子ども

## 3学期が始まりました。

いよいよ1年間のまとめである3学期が、始まりました。

冬休みの間、大きな事件や事故もなく、子ども達が元気に登校してきてくれたことを、とてもうれしく感じています。

さて、始業式についてです。

いじめや差別をなくすためには、「いじめの芽」をはやく無くすることが大切です。このいじめの芽は、「仲間と仲よくしたい」「仲間外しをしない」という気持ちが持てなくなったり、忘れてしまったりした

ときに生まれてきます。ですから、その気持ちを持ち続けようとするのが大切です。ここまでを2学期の終業式で話しました。

そこで、3学期では、この気持ちを持ち続けるためにどうすればよいかと考え、その答えの一つとして「笑顔」というものがあることを話しました。

口角(口の端)を上げるだけで、「幸せホルモン」が体の中に出るそうです。

「幸せホルモン」とは、心を良い状態に整えてくれて、幸せを感じることができるようになる物質のことです。

また、笑顔が多い人ほど、長生きをしているという報告もあるそうです。

この笑顔を大切にしながら、温かい心を持つことができれば、「仲よくしたい」「仲間外しをしない」というプラスの心を持つことができ、友達とよい関係を作っていくことができそうです。

子ども達には「人のためだけでなく、自分のためにも笑いましょう」と伝えました。

貴船小学校すべての児童が「仲間がいるから学校が楽しい」「学び合いのおかげで勉強が分かる」という学校にしていきたいと思っています。

左の記事は、本日付の読売新聞です。

6年生の子ども達がインタビューされています。他にも「下級生のお手本になりたい」というめあてをもった上級生がいました。子ども達のやる気をととても頼もしく感じています。

3学期もどうぞよろしくお願いたします。

3学期の目標を決める児童たち(北九州市小倉北区の貴船小で)



## 3学期も元気に

北九州市立小中学校で9日、3学期の始業式があり、冬休み明けの児童や生徒たちが元気に登校した。

小倉北区の貴船小(130人)の式は体育館であり、新森修二校長が「3学期は1年のまとめ。笑顔を大切に、一緒に頑張っていこう」と児童たちに呼びかけた。

児童たちはこの後、教室に戻って冬休みの宿題を提出。6年生の教室では、児童たちが担任やクラスメートと相談しながら、それぞれの3学期の目標を決めていた。

醒井兼希君(11)は「小学校で最後の学期なので、友達と仲良く過ごしたい」と話していた。

